

略歴（フルバージョン）

ブライアン・ペドル大将とロザリー・ペドル中将

ブライアン・ペドル大将と夫人のロザリー・ペドル中将は救世軍カナダ・バミューダ軍国の士官で、ニューファンドランド・ラブラドール州の出身です。

ブライアン・ペドル大将は『キリストと共なる者』の学年（1975-77）、ロザリー・ペドル中将は『世に勝つ者』の学年（1974-76）の士官候補生として訓練を受けました。1978年に結婚し、母国カナダで小隊、連隊本部、士官学校などさまざまな任命を受けました。

最初の海外奉仕は、当時少佐であった夫妻が2007年にニュージーランド・フィジー・トンガ・サモア軍国の北部連隊長と連隊女性部書記にそれぞれ任命された時でした。2009年には大佐の階級をもって英国・アイルランド軍国の書記長官と軍国女性部書記にそれぞれ任命されました。

2011年7月に中将の階級で、カナダ・バミューダ軍国の軍国指導者として母国に戻りました。ブライアン・ペドル中将は司令官に、ロザリー中将は軍国女性部会長にそれぞれ任命されました。ロザリー中将は兼任として軍国の霊的生活成長部長に任命されました。

2014年9月1日にロンドンの万国本営に移り、ブライアン・ペドル中将はアメリカ・カリブ地域担当万国書記官に、ロザリー・ペドル中将は同地域担当女性部書記に任命されました。2015年11月1日にはブライアン・ペドル中将が参謀総長に任命され、ロザリー中将が万国女性部書記に任命されました。

こうした奉仕の経験を経て、2018年8月3日、二人は、第21代救世軍大将及び万国女性部会長としての任に就き、現在まで救世軍の国際的なリーダーシップを発揮しています。

2007年10月にロザリー・ペドル中将はウィニペグのウィリアム・カサリン・ブース聖書カレッジで聖書学および神学の学士号を取得しました。大将とロザリー中将は、ともにカナダのサイモン・フレイザー大学で救世軍幹部士官養成課程を修了しています。

宣教の働き以外にも夫妻はいろいろな興味や才能をもっています。余暇には大将はカヤック、サイクリング、ハイキング、釣りを楽しみ、ロザリー中将は読書、サイクリング、ハイキングを楽しんでいます。多忙な日々の中でも、家族や友人との会話を大切にしています。

大将とロザリー中将は、救世軍士官としての召命に強い確信をもち、神が世界に強い影響をお与えになるために今日も救世軍を用いてくださる、との信念に心を燃やしています。大将夫妻は確信をもって福音を宣べ伝え、聖徒を励まし、人々のニーズに応える働きを進めています。また、救世軍の多様性を完全に受け入れ、祝福すると同時に、使命への召しによって統一された国際的な救世軍を導く喜びを深く感じています。

夫妻には2人の娘、ステファニーとクリスタがいます。ステファニーと夫のアダムはオンタリオ州のソープル・クリスチャン・フェロシップ・コミュニティ教会で活動しています。クリスタと夫のティムは救世軍士官で、カナダで奉仕をしています。大将夫妻は5人の孫に恵まれていることを喜んでいます。